第１学年３組英語活動学習指導案

町田市立　小山小学校
2026年11月13日(金)5時間目
対象　第１学年３組　３１名
指導者　主任教諭　宍戸　由三子

１ 単元名 「えいごでどうぶつえんをつくろう」

２ 単元の目標

○ 動物の名称や、好きを伝える表現（"Do you like ~?", "I like ~." など）の音声に親しみ、その意味や言い方が分かるとともに、慣れ親しむ。（知識及び技能）

○自分の好きな動物を選んだり、友達の好きな動物を聞いたりしながら、自分だけの動物園の構成を工夫して考え、英語で表現する。（思考力，判断力，表現力等）

○友達と互いの好きな動物について関心をもって聞き合い、進んでコミュニケーションを図ろうとするとともに、友達の多様な好みや考えを受け入れようとする。（学びに向かう力，人間性等）

３ 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	動物の名称や、好み・状況を表す表現（"Do you like ~?", "I like ~." など）の英語の音声や意味に慣れ親しみ、進んで言おうとしている。	自分の好きな動物を選んだり、友達の好みを聞いたりしながら、自分だけのオリジナル動物園の配置や構成を工夫し、英語で表現している。	友達と互いの好きな動物について進んでやり取りを行い、相手の好みや考えの違いを楽しみながら受け入れようとしている。

４ 単元構想

（1）児童について（児童観）

本学年の児童は、日常の外国語活動を通して英語の音声や簡単なやり取りに慣れ親しみ、元気に英語の歌を歌ったりジェスチャーを交えて表現したりすることを好む児童が多い。一方で、自分の考えや好みを英語で表現することに不安を感じたり、友達の前で発話することに恥ずかしさを覚えたりする児童も一部見られる。本単元では、自分の「好き」を素直に表現できる場を設定する。また、友達の表現に拍手したり、頷いたり、"Nice!" や "Me too!" などの温かい反応の場面を設定することで、英語を通じたコミュニケーションへの自信と親近感を育んでいく。

（2）教材について（学習材観）

本教材「動物」は、児童にとって身近で関心が高い。既習の色や気持ちを表す言葉と組み合わせやすく、自分の好みを表した「オリジナル動物園」づくりに無理なく取り組むことができる。ワークシートを使って動物の配置を工夫する活動を通して、主体的な学びを引き出す。また、"What animal do you like?" "I like ~." などの簡単な表現で友達と伝え合う中で、自分の好みを再認識するとともに、友達の異なる好みやよさを認め合う態度を一体的に育むことができる学習材である。

（3）単元について（単元観）

本単元は、身近な「動物」を題材に、好きな動物を尋ねたり答えたりする表現に親しむとともに、自分だけの「オリジナル動物園」をつくって共有し合う学習である。単元の前半では、動物の名称や好みを聞く表現（"What animal do you like?" "I like ~."）に慣れ親しみ、語彙やフレーズの定着を図る。単元の後半では、ワークシートを活用して動物の配置を工夫しながら動物園を作成し、友達とお互いに紹介し合う活動を行う。

5 研究主題に迫るための手だて

【自己理解】

① 自分の好みや工夫に気付かせる活動と振り返りの工夫

・ワークシートを活用し、「どの動物をどこに配置するか」「なぜその動物を選んだか」を自分で考えながら「オリジナル動物園」を作成する。また、「自分の好きな動物や、動物園の工夫したところを理由も含めて英語で伝えることができたか」を振り返り、自分の好みや表現への意識を深める。

【他者受容】

① 友達の考えや良さを認め合う交流と振り返りの工夫

・ペアやグループで "What animal do you like?" "I like ~." と問いかけ合い、お互いの動物園を紹介し合う。その際、"Nice!" や "Me too!" などのリアクションを交えて反応し合う。また、「友達の動物園の素敵な工夫や自分とは違う好きな動物に気づき、拍手や頷いたり、英語での反応ができたか」を振り返り、相手の考えや多様な好みを尊重する姿勢を育む。

6 単元の指導と評価の計画 （全6時間扱い）

時	学習活動	指導上の留意点	・評価規準 ○方法
1	気持ちを表す英語に親しもう ・気分や感情を表す語彙（happy, hungry 等）や挨拶の表現に慣れ親しむ。	・ジェスチャーを交えながら感情を表す表現を聞き取らせる。 ・自分の今の気持ちを選択して友達と交流させる。	・感情を表す基本的な表現の音声に親しみ、意味を理解している。 ○行動観察
2	好きな色を伝え合おう ・色の名前（red, blue, yellow 等）の英語表現に親しみ、好きな色を問いかけ合ったり選んだりする。	・身の回りの色を指さしながら発話させる。 ・好きな色を選んでワークシートに塗らせる。	・好きな色を選んで積極的に英語で伝えようとしている。 ○ワークシート
3	好きな色でTシャツを作ろう ・"What color do you like?" "I like ~." を用いて友達と好きな色を共有し、オリジナルTシャツを完成させる。	・色を組み合わせて表現する工夫をさせる。 ・相手の好きな色を聞いてリアクションをさせる。	・自分の思いに合った色を選び、英語で表現している。 ○ワークシート・行動観察
4	動物の表現に親しもう ・動物の名称（cat, dog, lion, elephant等）や鳴き声の英語表現を聞き取り、真似して発話する。	・視覚教材や動作を交えて動物の英語表現に慣れ親しませる。	・動物の名称や音声のフレーズを聞き取り発話している。 ○行動観察
5	好きな動物を言おう ・"What animal do you like?" "I like ~." を使って自分の好きな動物を尋ね合ったり紹介したりする。 ・理由や気持ちを含めて好きな動物を選ぶ。	・理由や気持ちを含めて好きな動物を選ばせる。 ・友達の好きな動物に共感しながら聞き合わせる。	・友達の好きな動物に関心を持ち、意欲的にコミュニケーションを図ろうとしている。 ○行動観察・振り返りカード
6 本時	英語で動物園を作ろう（動物園を完成させて発表・交流しよう。 ・自分だけの「オリジナル動物園」を作成し、友達とお互いに紹介し合う。	・動物の配置や構成を工夫して動物園を作成させる。 ・友達の動物園のよさや違いを認め合いながら交流させる。	・配置や理由を工夫してオリジナル動物園を作り、英語で表現している。

	・単元全体の振り返りを行う。	・【振り返り場面】 自分の選択や工夫、友達のよさについての振り返りを行わせる。	・友達の好みの違いを受け入れ、頷いたり共感したりしている。 〇ワークシート・行動観察・振り返りカード

7 本時の学習（6／6時間）

（1）本時のねらい

好きな動物をたずねたり答えたりする表現（"What animal do you like?" "I like ~."）に親しみ、自分だけの「オリジナル動物園」をつくって紹介し合う活動を通して、自分の好みや動物園の名前の工夫に気づくとともに、友達の異なる好みや動物園の工夫のよさを認め合い、進んでコミュニケーションを図ろうとする。

（2）展開

	学習活動	・指導上の留意点 〇評価(評価方法)
導入	1 挨拶・ウォームアップ ・ チャンツや歌を通して、動物の名前や好みを聞く表現（"What animal do you like?" "I like ~."）を復習する。 2 本時のめあてを確認する。	・ 前時までの学習内容を提示し、児童が自信をもって英語を発話できるよう全体で練習する。
	えいごで どうぶつえんを つくって、ともだちと しょうかいしあおう。	
展開	3 「オリジナル動物園」をつくる（10 分） 自 ・ ワークシートに好きな動物を選んで配置し、自分だけの動物園を作成する。 ・「なぜその動物を選んだか」「どうしてその動物園の名前にしたのか」を意識しながら作成する。 4 友達と動物園を紹介し合う（20 分） 他 ・ ペアやグループになり、作成した動物園を見せ合いながらやり取りをする。 - A: "What animal do you like?" - B: "I like (bird/sheep)." ・ 友達の動物園のよさや工夫に対してリアクション（"Nice!", "Good!", "Me too!"）をする。	自己理解① ・ 児童が「自分のこだわり（自己理解）」をもって動物を選べるよう声をかける。 ・ あらかじめペアでのやり取りのモデル（教員×児童）を示し、交流のイメージをもたせる。 他者受容① ・ 言葉だけでなく、ワークシートを指さしたりリアクションを交えたりして積極的に交流するよう促す。 〇自分の思いに合わせた動物の配置や動物の名前や色を確認して、英語で表現している。 （ワークシート・行動観察） 〇友達の好きな動物や動物園の工夫に関心をもち、頷き共感しながら交流している。 （行動観察）
終末	5 本時の振り返りを行う。 ・ 振り返りカードに記入し、自分の選択や友達との交流について振り返る。 ①自分の好きな動物や工夫を伝えられたか。 ②友達の動物園の素敵だと思ったところや、自分との違いに気付けたか。	・ 単に「楽しかった」で終わらせず、「自分のどこを工夫したか」「友達のどんなよさや違いを見つけたか」という視点で振り返るように指導する。 ・ 数名の児童の振り返りを全体で共有し、互いのよさを認め合う雰囲気をつくる。 〇自分の工夫や友達との動物の色の違いや動物園の名前の工夫について振り返ることができている。 （振り返りカード）

(3) 板書計画

オリジナルどうぶつえんを　つくろう

えいごで　どうぶつえんを　つくって、
ともだちと　しょうかいしあおう

色画用紙
あお　ピンク　おれんじ
きいろ　みどり　むらさき
あか

動物の絵
くま　とり　あひる　うま
ねこ　かえる　いぬ　ひつじ
きんぎょ　さる

ふりかえり
・じぶんの すきな どうぶつや くふうした ところを
　つたえられたかな？
・ともだちがくふうしたところをみつけられたかな？